

岡山芸術交流2025アーティスティック・ディレクター及び 参加ゲストが会場候補地等を視察します

岡山芸術交流2025アーティスティック・ディレクター及び参加ゲストが作品制作のため会場候補地等を視察します。

1 日 時

令和7年5月2日(金) 15時30分頃～17時頃

2 場 所

展示会場候補地(旧内山下小学校、岡山県天神山文化プラザ、岡山市立オリエント美術館などに加え、岡山城(中の段)、岡山後楽園、城下地下広場、表町商店街、石山公園などを検討中)

3 参加候補者

総合ディレクター	那須 太郎
アーティスティック・ディレクター	フィリップ・パレーノ
参加ゲスト(詳細別紙)	マルティーン・ダングルジャン＝シャティヨン(アメリカ)
	島袋 道浩(日本)
	ラムダン・トゥアミ(フランス)

4 取材について

- ・ 当日のスケジュール及び参加者は流動的なため詳細は事前にお問い合わせください。取材を希望される方は、5月1日(木)17時までに、社名・来訪予定人数を、お電話までお知らせください。視察の詳細は別途お伝えさせていただきます。

5 備 考

- ・ 岡山芸術交流は岡山城・岡山後楽園周辺の歴史・文化施設等を会場に、2016年から3年に1度開催している都市型の国際現代美術展です。

Artistic Director : フィリップ・パレーノ / Philippe Parreno

展覧会タイトル : 青豆の公園 / The Parks of Aomame

参 加 ゲ ス ト : 12か国・28組

会 期 : 2025年9月26日(金) ~ 11月24日(月)

W E B : <https://www.okayamaartsummit.jp/2025/>



Web



Instagram

【問い合わせ先】

文化振興課 藤野・矢吹 直通086-221-0033

＜5月2日（金）視察参加候補者＞

マルティーン・ダングルジャン＝シャティヨン

| Martine d'Anglejan-Chatillon (1963 年、アメリカ)

マルティーン・ダングルジャン＝シャティヨンは、ロンドンを拠点に、アート、映画、ファッション、テクノロジーの交差点で活躍するクリエイティブ・プロデューサー。社会実験兼映画大作『DAU』、ラスベガス・スフィアのこけら落としとなったU2の公演、ルイ・ヴィトンの大規模なファッションショーなど、カルチャー界で最も野心的かつ先鋭的なプロジェクトに携わってきた。2004年にはロンドンのThomas Dane Galleryの設立パートナーとして、フィルム、ビデオ、デジタルシミュレーションを専門に扱う。フィリップ・パレーノによって岡山芸術交流 2025 のキュレーターに任命され、現在はパレーノの長編映画の製作も行っている。2021年にMDAC Productionsを設立し、国際的に有名なアーティストをアートの隣接業界へ進出させる。ダングルジャン＝シャティヨンは、サマセット・ハウス（ロンドン）と、AI時代における芸術機関の役割、意味、機能に関する研究を支援する財団「Art Institutions of the 21st Century (AI21C)」の理事を務めている。



© Ilya Khrzanovsky



© Lawrence Lek

島袋道浩 | Shimabuku (1969 年、日本)

島袋は、沖縄県那覇市に在住し、国際的に活躍する日本人コンセプチュアル・アーティストである。1990年代初頭より、国内外を問わず様々な場所を旅し、また彼の作品は、サイトスペシフィックで、その場所で暮らす人々の場所、生活、文化に関わっている。新たなコミュニケーション形態に関連したパフォーマンス、映像、彫刻、インスタレーション作品などで知られる。彼の作品は時に生き物と人間の関係性にも及ぶ。詩情とユーモアに溢れ、隠喩的な方法で観る者を挑発する作風は、国際的に高い評価を得ている。主要な国際展に、第57回ヴェネツィア・ビエンナーレ（2017年）、第14回リヨン・ビエンナーレ（2017年）、第12回ハバナ・ビエンナーレ（2015年）、第9回台北ビエンナーレ（2014年）、第11回シヤルジャ・ビエンナーレ（2013年）、第27回サンパウロ・ビエンナーレ（2006年）、リバプール・ビエンナーレ（2006年）、第11回シドニー・ビエンナーレ（1998年）など。最近の主な個展に、セントロ・ボティン（サンタンデル、2024年）、ムゼイオン：ボルツァーノ現代美術館（ボルツァーノ、2023年）、ヴィールズ現代美術センター（ブリュッセル、2022年）、モナコ新国立美術館（モナコ、2021年）、Crédac-イヴリー現代美術センター（イヴリー＝シュル＝セヌ、2018年）、クンストハレ・ベルン（ベルン、2014年）、Icon Gallery（バーミンガム、2013年）など。島袋は岡山芸術交流の「アーティストック・トランスレーター」を務める。



飛ぶ私/Flying Me, 2006, Courtesy of the artist



白い道/The White Road, 2019, Courtesy of the Artist

ラムダン・トゥアミ | Ramdane Touhami (1974 年、フランス)

ラムダン・トゥアミは、パリを拠点に活動するモロッコ系フランス人デザイナーで、博識な起業家でもある。キャリアの初期には、フランス初のスケートボードウェアラインを立ち上げ、ギャラリー兼コンセプトストア「L'Épicerie」をオープン。東京の And.A やロンドンの Liberty などのファッションブランドやコレクションを指揮し、コスメティック・コンセプトストア「Parfumerie Générale」を立ち上げた。2007 年、世界最古のキャンドルメーカーであるフランスのシール・トゥルドン社の改革を手がけ、世界的な成功を収めた。2014 年、19 世紀創業の美容ブランド「オフィシーヌ・ユニヴェルセル・ビュリー」を復刻オープンし、LVMH による買収を成し遂げた。現在は、ラグジュアリーブランドやライフスタイルブランドを扱うエージェンシー「Art Recherche et Industrie」を中心に活動している。このスタジオでは、デザイナー、ディレクター、木工職人、建築家、植字工、印刷工を雇い、すべてのプロジェクトを社内制作によって実現させている。また、クリエイティブ・ディレクターのレオナルド・ヴェルネとともに出版社も経営している。彼の山への情熱は、2023 年にスイス・アルプスで受賞歴のあるドライ・ベルゲ・ホテルを立ち上げることに繋がった。2024 年には、山に関連する以下の 5 つのプロジェクトを公表した：パリのバレ・ロワイヤル庭園にあるアウトドア・プティック「A Young Hiker」、雑誌「Useless Fighters」、ドライ・ベルゲ・ホテルの姉妹カフェとしての「Drei Berge Utopia」、2 つのブランド：「Drei Berge Mountain Shoes」、そして彼の名を冠したジュエリー・コレクション。また、「Pseudo Radio」というオーディオ番組制作スタジオを運営している。24 時間 365 日稼働のライブオンラインラジオ「Music for Hikers」もプロデュースしている。



© Younès Klouche



© Younès Klouche